

平成 21 年度第 1 回審査委員会の結果

6 月 21 日（日），今回応募のあった 5 件について厳正な審査をしました。
結果，以下の 4 件について助成することと決定しました。

6 月 25 日（木），各学校を訪問し子どもたちに助成金を手渡してきました。

1 旭市立第二中学校ボランティア部

プロジェクト名 「交通安全 Are you OK?」

活動の概要 市内の交通安全に一役かう活動

具体的には，



市役所や警察署へ実態調査に出向き
自分たちで作成した交通安全計画書に警察
からアドバイスをもらい
実際に資料を市役所や市内小中学校に配布
する。

結果

交通安全や地域に貢献しようとする意識が
高まる。

というプロジェクトです。

助成額 8,848 円

2 旭市立第二中学校 3 学年

プロジェクト名 「見えない・・・危険！！」

活動の概要 市内の危険箇所マップ（不審者）を作成し，市民の防犯意識を
高めるため地域に呼びかける活動。



具体的には，

警察へインタビューに行き
小学校の実態を調査し
交通安全を訴えるチラシを作成し，呼びかけを
する。

結果

地域の人々の見えない危険に対する防犯意識を
高め

地域貢献の大切さが実感できる。

というプロジェクトです。

助成額 5,250 円

審査の結果，活動内容を見直し，さらによいプロジェクトとなることを期待して申請額（8,050 円）から減額して助成しました。

3 旭市立第二中学校演劇部

プロジェクト名 「小さな子に物語を・・・」

活動の概要 学区の幼稚園を訪問し園児の前で演劇を披露する。



その際、

園児にわかりやすい台本の作成や効果的な表現方法を学び

園児とのコミュニケーションの取り方を研究する。

結果

地域理解をさらに深め

演劇部として、演出力や表現力を高めることができる。

などの力が身に付くと考えたプロジェクトです。

8月11日(火)に公演予定

助成額 30,000円

4 旭市立富浦小学校5年1組

プロジェクト名 「ふれあいボランティア」

活動の概要 地域に住むお年寄りを訪ね交流する活動。



具体的には、

昨年実施した先輩の反省を生かして

地区の民政委員や駐在さんと相談しながら

お年寄りに喜んでもらえる交流計画を作成し

実際に交流することで

結果

計画力、実践力が育ち

思いやりの心が育ち

相手にあったコミュニケーション力が付く

というプロジェクトです。

助成額 40,400円

今回、助成できなかった1件には「結果通知」に審査委員会としてプロジェクトに対するアドバイスを添え、次回も是非応募してほしいと伝えました。

21年度委員の紹介

運営委員

委員長 林 秋生(旭ライオンズクラブ)
副委員長 加瀬 善一(旭ロータリークラブ)
" 門脇 祥平(旭青年会講所)
委員 上杉 賢士(千葉大学)
" 市川 洋子(千葉大学)
" 森 正志(旭ライオンズクラブ)
" 松浦 常男(旭ロータリークラブ)
" 鈴木 秀幸(旭青年会講所)
" 渡邊 錦一(旭市PTA連絡協議会顧問)
" 平野 一男(旭市教育委員会)

審査委員

委員長 上杉 賢士(千葉大学)
副委員長 佐々木 守(旭ロータリークラブ)
委員 伊藤 和則(旭ライオンズクラブ)
" 天野 一哉(ジャーナリスト・星槎大学准教授)
" 川瀬 信一(千葉大学教育学部4年)